



各 位

平成 26 年 3 月 18 日

会社名 株式会社パレモ
代表者名 代表取締役社長 小田 保則
(コード番号: 2778)
問合せ先 常務取締役管理担当 永井 隆司
TEL (0587) 24-9771

平成 26 年 2 月期通期(非連結)業績予想の修正および役員報酬減額に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 25 年 9 月 27 日付の「平成 26 年 2 月期 第 2 四半期決算短信(非連結)」において公表しました平成 26 年 2 月期(平成 25 年 2 月 21 日～平成 26 年 2 月 20 日)通期(非連結)業績予想を下記のとおり修正するとともに、役員報酬の減額を実施しますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 修正の内容

平成 26 年 2 月期 通期(非連結)業績予想数値の修正(平成 25 年 2 月 21 日～平成 26 年 2 月 20 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	37,600	420	460	0	0 0
今回修正予想 (B)	36,292	△479	△433	△2,254	△187 12
増減額 (B-A)	△1,308	△899	△893	△2,254	—
増減率 (%)	△3.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 25 年 2 月期)	39,653	414	683	1,079	89 56

(2) 修正の理由

当期における我が国経済は、政府主導の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に、円安や株高が進行し、輸出関連企業を中心に収益改善が見られるなど、景気回復の期待が膨らみました。その一方で、当社をとりまく環境は、個人消費の改善については限定的であり、デフレ環境が根強く残る中、秋冬の天候不順やトレンド不在の市場環境も影響した結果、当社業績は前回予想を下回る数値見通しとなりました。

売上高におきましては、春物の立ち上がりや夏場のシーズン商品などは好調に推移した反面、秋以降の残暑や台風の影響で秋物全般に不振が続いたほか、冬シーズンの主力アイテムであるアウターの販売が落ち込み、下半期の既存店売上高前年比が 90.6%という厳しい結果となり、前回予想を 1,308 百万円下回る見込みであります。

利益面におきましても売上高の減少に加え、円安による原価の高騰及び秋冬物の値下販売の増加による影響により、営業利益・経常利益は、それぞれ前回予想を 899 百万円、893 百万円下回る見込みであります。

当期利益におきましては上記要因のほかに、当期の業績予想を受け、繰延税金資産を 1,277 百万円取り崩

すこと等により法人税等調整額を 1,316 百万円計上することから、当期純損失 2,254 百万円となる見通しであります。

当期の見通しを踏まえまして、次期におきましては経営体質の改善及び業績の回復向上に向け、①事業基盤の再構築（収益基盤の集中と選択）、②基幹事業の収益回復（マーチャンダイジングの変革等）、③不採算店舗閉店による赤字額削減及び営業費の低減などの施策を実施してまいります。

2. 役員報酬の減額について

当社は、すでに業績に連動したかたちで役員報酬を当期に減額しておりますが、このたびの平成 26 年 2 月期における業績予想の下方修正を真摯に受け止め、以下のとおり役員報酬の更なる減額を実施いたします。

（1）役員報酬減額の内容

取締役の役位に応じて、役員報酬月額の 20%から 30%の幅で減額

（2）対象期間

平成 26 年 6 月から平成 27 年 5 月まで（1 年間）

3. 配当予想について

上記の業績予想の修正に伴う配当予想の変更はございません。

以上